

2023年09月24日

## 「神様のみこころが成就する人生」

考えてみると、人生で最も重要なことは、自分で手に入れたり決めたりしたものではありませんでした。人種、性別、誕生日のようなものが、その代表的なものです。それらは、自分が決めたものではなく、神様から与えられたものです。誰でも生まれるとき、親を選ぶことはできません。そのように、人生で重要なことは、私たちの手の届かないところで起こります。それで、ある人は、このような人生は自分が願う人生ではなかったと言って、神様を恨みます。現実を受け入れられないのです。しかし、自分の人生に神様の摂理と恵みがあることを知っている人は、決してそのようなことは言いません。

神様がご自分のみこころを成し遂げるために、私たちの頑なな心を曲げられるときがあります。そのような時、神様に勝とうとしてはいけません。曲げられないように逃げてもいけません。反抗して、逃げていると、かえって満身創痕になるかもしれません。

神様のみこころに従いましょう。神様の御前に主導権を降ろし、受動的になりましょう。苦難がやって来た時、自分の人生を神様に委ね、みこころに従いましょう。そのことに早く気づいた人は、神様の祝福を味わいます。

幸せな人生の奥義は、神様の主権と恵みにあります。すべてのことに神様の主権を認め、その方に拠り頼む人が、祝福を味わうことができるのです。

箴言 3:5 心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。

3:6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。

主があなたの進む道をまっすぐにされる。

リビングライフ・コラム

## 週報

§ 今年の教会テーマ  
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句

「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2  
宗教学者 日本ネクスト・タウンズ・クルセード  
鈴鹿キリスト福音教会  
059-383-5145(教会)

## 今週の礼拝メッセージ

タイトル 「対立を乗り越えて」  
聖書箇所 使徒の働き 15:1～21

聖霊の降臨によりエルサレムに誕生した初代教会は、宣教の働き  
の進展と共にどんどん発展し、異邦人の中からも信者となる  
人々が続々と起こされてきた。そこで問題になったのは、長年の  
ユダヤ教の伝統と習慣の中に生きてきたユダヤ人信者の中から、  
異邦人で信者となった者たちも、ユダヤ教の重要な教えである律  
法を守り、割礼を受けさせるべきであるという強い要求が出てき  
たことである。これを認めるということは、「主イエスを信じる信  
仰だけで誰もが救われる」という福音の核心ともいう教えを無に  
してしまうたいへん危険なことで、この解決のためにエルサレム  
で教会会議がもたれた。

※主はどのようにして彼らを導かれたか。

1. 証しによって  
4 節：パウロとバルナバは、神が彼らと共に居て行われた  
ことを報告した  
7 節：ペテロは自分を異邦人のコルネリオの所に主が導か  
れた次第を証しした
2. みことばの教えをもって  
15 節：ヤコブはみことばをもって勧めた
3. 愛の心遣いをもって  
19,20 節：ヤコブは異邦人信者とユダヤ人信者への愛の配  
慮を働かせた

## 毎日の信仰告白

「恐れるな、喜べ。もっと喜べ、  
今最高に喜べ、感謝せよ、主にあって  
主イエスを信じる私に、今日も良いことがあります  
主イエスを信じる私に、今日も美しいことが始まります  
神は善にして善を行なわれます  
マイナスはプラスに 不可能は可能に  
全てあい働いて益とされます  
わたしは恐れ退いて滅びる者ではありません  
信じていのちを保つ者です  
私と私の家族はみな救われます。ハレルヤ」

## 《カキクケコのハッピーライフ》

**カ**=感謝の生活で一日を

**キ**=キリスト第一、キリスト中心に

**ク**=悔い改めを忘れずに

**ケ**=謙遜に主に習い

**コ**=向上心を大切に